

宿泊分野における特定技能外国人の受入れ状況

資料2

(令和2年5月現在)

【在留資格許可件数】 21名

【マッチング状況】 115名(詳細は以下の通り)

国籍別のマッチング状況

国名	人数
ベトナム	29名
ミャンマー	24名
インドネシア	17名
ネパール	14名
韓国	7名
中国	6名
台湾	5名
モンゴル、フィリピン	各3名
香港	2名
スリランカ、チリ、スウェーデン、フランス、タイ	各1名

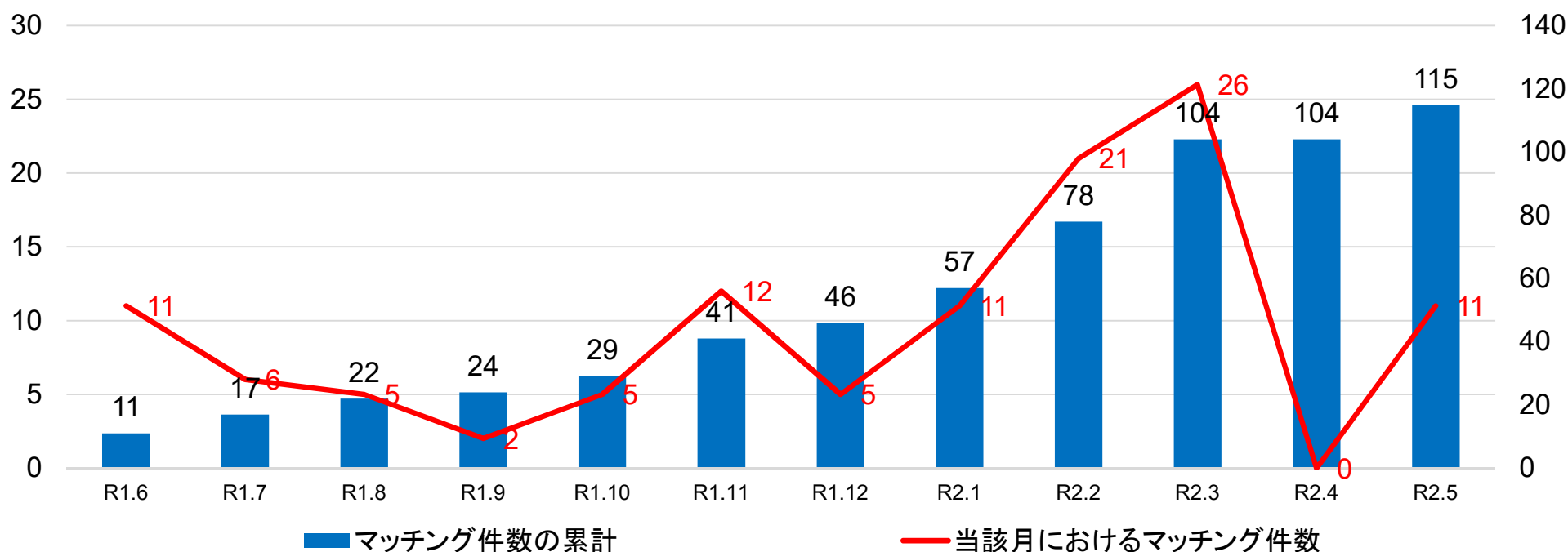
ブロック別のマッチング状況

ブロック	人数	主な国籍(上位2カ国)
北海道	8名	ベトナム、ミャンマー
東北	5名	ミャンマー、ベトナム
北陸信越	18名	ネパール、ベトナム
関東	20名	ベトナム、インドネシア
中部	17名	インドネシア、ミャンマー
近畿	32名	ベトナム、ミャンマー
中国	3名	インドネシア、モンゴル
四国	4名	ネパール、ベトナム
九州	2名	ベトナム、韓国
沖縄	6名	ミャンマー、韓国

宿泊分野における特定技能外国人の受入れ状況の推移

- 宿泊分野においては、令和元年8月に初めて特定技能による受入れ者が誕生したところ。
- 「宿泊事業者と技能試験合格者のマッチング件数」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年4月に0件となったものの、5月に入ると10件以上の数値を記録した。

＜宿泊事業者と技能試験合格者のマッチング件数＞



参考

- 宿泊業における技能試験は、これまで平成31年4月(国内)、令和元年10月(国内、ミャンマー)、令和2年1月(国内)の計4回実施。
- 宿泊事業者と技能試験合格者のマッチング推進に向け、観光庁では令和元年10月～令和2年2月に掛けて、全国10カ所で交流会等を実施。